

平成19年度新規採択に係る事前評価実施地区一覧表(自主的な評価)

2 森林環境保全整備事業

中部 森林管理局

整理 番号	都道府県	事業実施地区名		事業実施主体		総便益 (千円) B	総費用 (千円) C	分析 結果 B/C	チェックリスト																													
									I 必須事項					II 優先配慮事項																								
														1 事業で達成する 目標に関する事項					2 事業内容や実施体制等に関する事項																			
									1	2	3	4	5	①	②	③	④	⑤	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	
1	富山県	神通川森林計画区	じんつうがわ	中部局	富山署	412,575	46,398	8.89	○	○	○	○	○	○	/	/	/	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	/	/	/	/	/	/	/	/
2	岐阜県	飛騨川森林計画区	ひだがわ	中部局	岐阜署	2,360,182	301,331	7.83	○	○	○	○	○	○	/	/	/	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	/	/	/	/	/	/	/	/
3	岐阜県	宮・庄川森林計画区	みや・しょうかわ	中部局	飛騨署	2,211,763	560,605	3.95	○	○	○	○	○	○	/	/	/	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	/	/	/	/	/	/	/	/	

注: チェックリストの各項目については、評価項目を満たしている場合には「○」を、該当しない場合には「-」を記載。事業により項目を設けていない場合は「/」を記載。

## 事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成19年度～平成23年度																				
事業実施地区名 （都道府県名）	神通川森林計画区 （じんつうがわ） （富山県）	事業実施主体	中部森林管理局 富山森林管理署																				
事業の概要・目的	<p>本事業は、富山県東部の神通川計画区に所在する95,425haの国有林野を対象としている。</p> <p>当計画区は、日本海に注ぐいづれも急流である神通川、黒部川、常願寺川等の流域に位置し、地形が急峻で土砂流出防備、水源かん養の役割を担っている。このほか、優れた自然景観にも恵まれ、中部山岳国立公園等に指定され登山や自然観察などレクリエーションの場として多くの人々に利用されている。</p> <p>また、国有林はほぼ全域が保安林及び自然公園になっており、国土の保全、水源のかん養、自然環境の保全・形成並びに国民の保健休養の場の提供等、公益的機能の発揮の上で重要な役割を果たしている。</p> <p>本事業は、これら地域の特性に応じ、森林の有する多面的機能を総合的かつ高度に発揮させるため、除間伐等を積極的に実施し、機能類型に応じた適切な森林整備を行うことを目的とする。</p> <table style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 30%;">主な事業内容</td> <td style="width: 20%;">森林整備</td> <td style="width: 10%;">更新面積</td> <td style="width: 10%;">—</td> <td style="width: 10%;">(ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td>96</td> <td>(ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>—</td> <td>(km)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>改良延長</td> <td>0.5</td> <td>(km)</td> </tr> </table>			主な事業内容	森林整備	更新面積	—	(ha)			保育面積	96	(ha)		路網整備	開設延長	—	(km)			改良延長	0.5	(km)
主な事業内容	森林整備	更新面積	—	(ha)																			
		保育面積	96	(ha)																			
	路網整備	開設延長	—	(km)																			
		改良延長	0.5	(km)																			
費用対効果分析	総費用（C）	46,398（千円）																					
	総便益（B）																						
	水源かん養便益	171,040（千円）																					
	山地保全便益	48,341（千円）																					
	環境保全便益	6,387（千円）																					
	木材生産便益	90,243（千円）																					
	森林整備経費縮減等便益	96,564（千円）																					
	計	412,575（千円）																					
	分析結果（B/C）	8.89																					
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 必要性： 国土の保全、水源のかん養及び自然環境の維持・保全等、公益的機能の発揮に関する地域の要請に応えるため、本事業の実施が必要である。</li> <li>・ 有効性： 本事業は、健全な森林の育成を図るため、人工林保育及び間伐等を積極的に推進し、これに必要な路網を整備するものであり、地域の森林の諸機能の向上に有効な事業と認められる。</li> <li>・ 効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。</li> </ul> <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>																						

様式 1

整理番号 1

森林整備事業費用対効果集計表

事業名：森林環境保全整備事業

都道府県名： 富山県

施行箇所：神通川森林計画区

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分 ( 便 益 )	評価額 B (千円)	備 考
水源かん養便益	洪水防止便益	89,776	
	流域貯水便益	35,966	
	水質浄化便益	45,298	
山地保全便益	土砂流出防止便益	48,341	
	土砂崩壊防止便益	0	
環境保全便益	炭素固定便益	6,387	
木材生産便益	生産等経費縮減便益	77,238	
	利用増進便益	0	
	生産確保・促進便益		
	森林整備分	13,005	
	路網整備による増進分	0	
森林整備経費縮減 等便益	造林作業経費縮減便益		
	歩行時間等経費縮減便益	0	
	作業道作設経費縮減便益	0	
	治山経費縮減便益	9,862	
	森林管理等経費縮減便益	86,702	
便 益 合 計	(B)	412,575	
事 業 費	(C)	46,398	千円
費用対効果分析	$B \div C =$	$\frac{412,575}{46,398}$	$= 8.89$

## 事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成19年度～平成23年度																
事業実施地区名 （都道府県名）	飛騨川森林計画区 （ひだがわ） （岐阜県）	事業実施主体	中部森林管理局 岐阜森林管理署																
事業の概要・目的	<p>本事業は、岐阜県中央東部の飛騨川計画区に所在する23,951haの国有林野を対象としている。</p> <p>当計画区は、主にら壮飛騨川及びその支流である小坂川、馬瀬川の流域に位置し、北部は幼年期の緩やかな地形か年期の急峻な地形に移行しており、南部は丘陵地形となっている地域で、中京圏の水源としての役割と土砂流出防備の役割を担っている。このほか、御嶽山の山岳や飛騨川の溪谷美等の優れた自然景観に恵まれ、飛騨木曾川国定公園・御嶽山県立自然公園等に指定され、森林レクリエーションの場として多くの人々に利用されている。</p> <p>また、国有林における公益林の比率は97%になっており、国土の保全、水源のかん養、自然環境の保全・形成及び国民の保健休養の場の提供等、公益的機能の発揮の上で重要な役割を果たしている。なお、当地域は木曾川森林計画区と並んで岐阜県の主要な林業地帯であり、東濃ヒノキに代表される木材の生産地となっている。</p> <p>本事業は、これら地域の特性に応じ、森林の有する多面的機能を総合的かつ高度に発揮させるため、除間伐等を積極的に実施し、機能類型に応じた長伐期施業等多様な森林整備を行うことを目的とする。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">主な事業内容</td> <td style="width: 20%;">森林整備</td> <td style="width: 20%;">更新面積</td> <td style="width: 40%; text-align: right;">59 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td style="text-align: right;">395 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td style="text-align: right;">— (km)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>改良延長</td> <td style="text-align: right;">1.0 (km)</td> </tr> </table>			主な事業内容	森林整備	更新面積	59 (ha)			保育面積	395 (ha)		路網整備	開設延長	— (km)			改良延長	1.0 (km)
主な事業内容	森林整備	更新面積	59 (ha)																
		保育面積	395 (ha)																
	路網整備	開設延長	— (km)																
		改良延長	1.0 (km)																
費用対効果分析	総費用 (C)	301,331 (千円)																	
	総便益 (B)																		
	水源かん養便益	1,037,778 (千円)																	
	山地保全便益	360,962 (千円)																	
	環境保全便益	81,171 (千円)																	
	木材生産便益	762,000 (千円)																	
	森林整備経費縮減等便益	118,271 (千円)																	
	計	2,360,182 (千円)																	
	分析結果 (B/C)	7.83																	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 必要性： 国土の保全、水源のかん養及び自然環境の維持・保全等、公益的機能の発揮に関する地域の要請に応えるため、本事業の実施が必要である。</li> <li>・ 有効性： 本事業は、健全な森林の育成を図るため、保育及び間伐等を積極的に推進し、これに必要な路網を整備するものであり、地域の森林の諸機能の向上に有効な事業と認められる。</li> <li>・ 効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。</li> </ul> <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>																		

様式 1

整理番号 2

**森林整備事業費用対効果集計表**

事業名：森林環境保全整備事業

都道府県名：岐阜県

施行箇所：飛騨川森林計画区

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分 ( 便 益 )	評価額 B (千円)	備 考
水源かん養便益	洪水防止便益	521,389	
	流域貯水便益	227,864	
	水質浄化便益	288,525	
山地保全便益	土砂流出防止便益	360,962	
	土砂崩壊防止便益	0	
環境保全便益	炭素固定便益	81,171	
木材生産便益	生産等経費縮減便益	424,065	
	利用増進便益	0	
	生産確保・促進便益		
	森林整備分	337,935	
	路網整備による増進分	0	
森林整備経費縮減 等便益	造林作業経費縮減便益		
	歩行時間等経費縮減便益	0	
	作業道作設経費縮減便益	0	
	治山経費縮減便益	0	
	森林管理等経費縮減便益	118,271	
便 益 合 計	(B)	2,360,182	
事 業 費	(C)	301,331	千円
費用対効果分析	$B \div C =$	$\frac{2,360,182}{301,331} =$	7.83

## 事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成19年度～平成21年度																
事業実施地区名 （都道府県名）	宮・庄川森林計画区 （みやしょうかわ） （岐阜県）	事業実施主体	中部森林管理局 飛騨森林管理署																
事業の概要・目的	<p>本事業は、岐阜県中央東部の飛騨川計画区の一部区域（高山市への編入町村：久々野町、朝日村、高根村）を市町村合併に伴って岐阜県北部の宮・庄川計画区へ移動した19,304haの国有林野を対象としている。</p> <p>当計画区は、飛騨川の源流域にあって、国土の保全、水源のかん養等の公益的機能の発揮に重要な役割を担っている地域である。このほか、山岳地帯は優れた自然景観にも恵まれ、中部山岳国立公園・御嶽山県立自然公園等に指定されており、森林レクリエーションの場として多くの人々に利用されている。</p> <p>また、国有林における公益林の比率は97%になっており、国土の保全、水源のかん養、自然環境の保全・形成及び国民の保健休養の場の提供等、公益的機能の発揮の上で重要な役割を果たしている。</p> <p>本事業は、これら地域の特性に応じ、森林の有する多面的機能を総合的かつ高度に発揮させるため、更新と除間伐等を積極的に実施し、機能類型に応じた長伐期施業等多様な森林整備を行うことを目的とする。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">主な事業内容</td> <td style="width: 20%;">森林整備</td> <td style="width: 20%;">更新面積</td> <td style="width: 30%;">193 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td>693 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>4.3 (km)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>改良延長</td> <td>0.6 (km)</td> </tr> </table>			主な事業内容	森林整備	更新面積	193 (ha)			保育面積	693 (ha)		路網整備	開設延長	4.3 (km)			改良延長	0.6 (km)
主な事業内容	森林整備	更新面積	193 (ha)																
		保育面積	693 (ha)																
	路網整備	開設延長	4.3 (km)																
		改良延長	0.6 (km)																
費用対効果分析	総費用（C）	560,605（千円）																	
	総便益（B）																		
	水源かん養便益	776,149（千円）																	
	山地保全便益	269,940（千円）																	
	環境保全便益	56,391（千円）																	
	木材生産便益	616,560（千円）																	
	森林整備経費縮減等便益	492,723（千円）																	
	計	2,211,763（千円）																	
	分析結果（B/C）	3.95																	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 必要性： 国土の保全、水源のかん養及び自然環境の維持・保全等、公益的機能の発揮に関する地域の要請に応えるため、本事業の実施が必要である。</li> <li>・ 有効性： 本事業は、健全な森林の育成を図るため、更新・保育及び間伐等を積極的に推進し、これに必要な路網を整備するものであり、地域の森林の諸機能の向上に有効な事業と認められる。</li> <li>・ 効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。</li> </ul> <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>																		

様式 1

整理番号 3

**森林整備事業費用対効果集計表**

事業名：森林環境保全整備事業

都道府県名：岐阜県

施行箇所：宮・庄川森林計画区

(単位：千円)

大区分	中区分 (便益)	評価額 B (千円)	備考
水源かん養便益	洪水防止便益	389,913	
	流域貯水便益	170,466	
	水質浄化便益	215,770	
山地保全便益	土砂流出防止便益	269,940	
	土砂崩壊防止便益	0	
環境保全便益	炭素固定便益	56,391	
木材生産便益	生産等経費縮減便益	198,301	
	利用増進便益	15,204	
	生産確保・促進便益		
	森林整備分	267,805	
	路網整備による増進分	135,250	
森林整備経費縮減等便益	造林作業経費縮減便益		
	歩行時間等経費縮減便益	238,010	
	作業道作設経費縮減便益	12,188	
	治山経費縮減便益	108,939	
	森林管理等経費縮減便益	133,586	
便益合計	(B)	2,211,763	
事業費	(C)	560,605	千円
費用対効果分析	$B \div C =$	$\frac{2,211,763}{560,605} =$	3.95